

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点				
	大問	小問	通番		聞く能力	書く能力	読む能力	言語事項	
話すこと・聞くこと	一	一	1	話し手が取り上げている事実とその原因を正しく聞くことができる。					
		二	2	話し手の説明の仕方の工夫を正しく聞くことができる。					
		三	3	話し合いの中で出た意見を聞き分けることができる。					
		四	4	話し方のよさについて取り上げた内容を正しく聞くことができる。					
読むこと	二	一	5	文脈における語句の意味を正しく理解しながら読むことができる。					
		二	6	表現の仕方や文章の特徴を正しく理解しながら読むことができる。					
		三	7	物語の展開に注意して、登場人物の心情をとらえることができる。					
		四	8	登場人物の心情をとらえながら、朗読の仕方を考えることができる。					
		五	9	文章の内容や特徴について正しく理解しながら読むことができる。					
書くこと	三	一	10	広い範囲から課題を見つけ、必要な材料を集めることができる。					
		二	11	根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くことができる。					
		三	12	伝えたい内容をはっきりさせ、構成を工夫して書くことができる。					
言語事項	四	1	13	中学校2年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。					
		2	14						
		3	15						
		4	16						
	一	5	17	小学校6年生までに学習した漢字を正しく書くことができる。					
		6	18						
		7	19						
		8	20						
		9	21						
		10	22						
	四	1	23	故事成語を正しく使うことができる。					
		二	2	24	対義語を正しく使うことができる。				
			3	25	同訓異字の言葉を正しく使うことができる。				
		四	1	26	文の成分を正しく理解している。				
三	2		27	部首を正しく理解している。					
	3		28	敬語を正しく使うことができる。					
4	29		古文の仮名遣いを正しく理解している。						
書くこと	五	一	30	資料から分かることについて自分の考えをもち、決められた字数で書くことができる。					
					/ 4	/ 4	/ 5	/ 17	

今後の学習に向けて \*自分ががんばりたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「聞くこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し手の意図を考えながら聞く」「事実と意見の関係に注意して聞く」「説得力のある話となるよう内容や話し方などに気を付けながら聞く」など、国語の授業で学習した聞き方について復習し、他教科の授業や毎日の生活で話を聞くときにも生かしましょう。</li> <li>家庭においても、ニュース番組のアナウンサーや討論番組の発言者の話し方や意図について注意深く聞くようにするなど、適切な語句の選択や効果的な使い方を学習しましょう。</li> </ul>
「書くこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>最初に、自分の考えをはっきりさせ、何を伝えるかを明確にしましょう。その上で、自分の考えを伝えるためには、どのような根拠を用いると効果的かを考え、ふさわしい根拠を選び出すことが大切です。さらに、話のまとまりごとに段落に分けて書くようにしましょう。</li> <li>家庭においても、新聞のコラムの内容をまとめて感想を書き加えたり、毎日の生活の記録ノート等に感想と根拠を書いたりして、日頃から文章の構成を工夫する練習をしましょう。</li> </ul>
「読むこと」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語を読むときには、まずあらすじをつかみましょう。そして、文章の展開に注意して、場面の状況や登場人物の心情の変化を考えながら読むことが大切です。その時、情景描写や心情描写の言葉に着目し、根拠となる表現をもとに想像するようにしましょう。また、国語の授業で、自分の考えを積極的に発言したり、仲間の考えと比べて聞いたりしながら、自分の考えを深めるようにしましょう。</li> <li>家庭においても、読書の時間を作り、自分の好きな本や国語の教科書等で紹介されている本を読みましょう。その時、「書き手は何を伝えようとしているのか」を考えるだけでなく、そのことに対して自分はどうか考えるのか自分の意見をもちながら読みましょう。また、授業で学習した表現方法や着目するよ表現については、ノート等に整理したり表にまとめたりして、その働きを理解しておきましょう。</li> </ul>
「言語についての知識」を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字については、どこが間違っているかを明らかにし、正しい字で繰り返し練習することが大切です。また、読み方が分からない場合は辞典等で確かめたり、学習した漢字を使って書いたりする習慣を付けましょう。文法や古文の仮名遣い等については、教科書等を使って何度も復習することが大切です。</li> <li>家庭においても、教科書に掲載されている漢字を繰り返し書いて覚えたり、新しく学習する教材の語句で意味が分からないものについては、事前に辞典を使って語句調べなどを行ったりしましょう。</li> </ul>